



情報ボックス

本 市役所本庁舎
穂 穂高総合支所
明 明科総合支所
安 安曇野庁舎
三 三穂総合支所
穂 穂高健康支援センター
豊 豊科総合支所
堀 堀金総合支所

お知らせ

豊科地域市民農園 利用者の募集

市では、野菜などの栽培を通して自然と触れ合い、農業に対する理解を深めていただくため市民農園を開設しています。左記区画の利用者を募集します。左記区画の利用者をお申し込みで農園の利用を希望する人はお申し込みください。

- 場所（豊科地域）
 - ・新田農園 4区画
 - ・成相農園 2区画
 - ・たつみ原農園 1区画
- 利用期間 利用決定の日から平成22年3月31日（水）まで
- 農園面積・利用料（1区画）
 - ・新田農園・たつみ原農園 50平方メートル 2,000円
 - ・成相農園

アルプス花街道 参加者・団体の募集

安曇野を訪れる皆さんを歓迎し、潤いのある地域づくりを目的に始まった「アルプス花街道」。その取り組みは13年目を迎へ、市全域に広がっています。アルプス花街道実行委員会では、花づくりと一緒に汗を流していただける個人、グループ、団体、企業などを募集しています。



先入観?それとも偏見? 元男女共同参画社会形成推進委員 平倉 勝美



私がある会社の総務課長だった時のことです。受付から「〇社のAさんが、課長に会いたいとおいでになっています。」と連絡があり応接室に行きました。「お待ちせしました。課長の平倉です。」とごあいさつをしたところ、Aさんは良く聞こえなかったのか、それとも思い込みからか、「私は総務課長さんにお会いしたいとお願いしたのですが…。」「私が総務課長です。」と言っても、まだキョトンとしたままで、女性の課長とは思っていません。Aさんは突然ハット気が付き、謝ることしきり、しどろもどろで、落ち着くまでに少し時間が掛かったことは言うまでもありません。先入観と偏見と思ひ込みがなしたイタズラだったのかもしれませんが、しかしそれと同時に、一企業の中での役職でいても、女性では世間に通用しないということと“井の中のかわず”では、自分自身の成長も無いことを思い知らされました。外へ飛び出して、異業種との交流や研修会に参加し学んで、女性役職の存在をもっとアピールしていかなければ、男性と同じようには世間ではまだ認められないと思いました。

企業や地域は、無理をしても女性を管理職や役職に登用し、一人前の管理者に育つチャンスを与えてください。女性は、思い切って役職を引き受け、自ら学びましょう。両者がその気になれば、相乗効果が出て良い女性管理者が育つと思います。発想も、考え方も男性とは違うところがある女性を、企業も、社会も、地域でも大いに役立ててください。そして、対等に意見を交わし、皆でいい社会をつくっていきませんか。

碌山公園研成ホールの催し

- ①平利利貞彫刻展
 - 日時 4月3日（金）～5日（日）
 - 午前9時～午後5時
 - 内容 故・平利利貞の回顧展
 - 入場料 無料
 - 開場 長谷川さん
 - （TEL 0261-62-5610）
- ②美術講座展
 - 日時 4月9日（木）～14日（火）
 - 午前9時～午後5時

■内容 平成20年度に研成ホールで開講された美術講座の成果発表

穂高地域開発事業の承認

穂高町まちづくり条例の規定に基づき、平成21年1月の開発審査分として市長が承認した事業を公表します。

- 株式会社モリキの開発事業
 - ・場所 穂高2579番1他1筆
 - ・開発面積 2,082.59㎡
 - ・目的 ドラッグストアの建設
- 株式会社日本葉緑素の開発事業
 - ・場所 穂高有明381番1他3筆
 - ・開発面積 1,989.77㎡
 - ・目的 製品監理倉庫および配送センターの建設

松本献血ルーム 献血にご協力を

- ▽成分献血 午前9時～12時30分
- 分・午後2時～4時30分
- ▽全血献血 午前9時～午後1時
- 時・午後2時～5時
- 休日 第1・第3金曜日
- （開設11周年記念イベント）
- ▽マッサージ3月30日（月）4月1日（水）2日（木）▽占い3月31日（火）献血者にプレゼント※駐車場はMウイングまたはアイパーク
- 松本伊勢町献血ルーム
- （TEL 37-1600）

報告

「水の大切さを学ぶ」下水道新聞コンクール最優秀賞受賞



それぞれに表彰状を手渡す

「下水道新聞コンクール2008」（実行委員会主催）で、三郷小学校4年7組から応募された作品が、最優秀賞・優秀賞・奨励賞にそれぞれ入賞しました。このコンクールは下水道に対する子どもたちの理解を深めてもらうのが目的。2月24日には、同校で表彰式が行われました。最優秀賞の新聞「しあわせ」を作成した中の1人、田口真琴さんは「下水道について調べてみて、自分でも気の付くことがたくさんありました」と、感想を話してくれました。

報告

地域消防の充実に向けて 消防車両を更新

市は2月26日、消防車両の配置式を本庁舎前で行いました。配置したのは消防ポンプ自動車1台で、明科潮区と潮沢区の一部を所管している第7分団第1部に配備しました。旧車両は、配置から約18年が経過し老朽化が進んでいました。新車両はポンプなどの性能も高く、防災力の一層の強化が期待できます。鳥羽昌弘分団長は、「性能を発揮できるように、十分な訓練を積み重ねたい」と、活動の充実を誓いました。



地域防災の中心的な役割が期待される